

「サイエンスフェスタ in ちの2016」を実施しました

2016年9月17日(土)茅野市市民館で「サイエンスフェスタ in ちの2016」を開催しました。茅野市産業振興プラザ、諏訪東京理科大学と本校が主催となって開催するこの行事は今年度で第5回目となり、地元でもすっかり定着して恒例の行事となりました。

初秋の晴天のもと、12:00~16:00の4時間の開催時間で1200人の来場者がありました。本校からは、理数科1、2年生と科学部、保健委員会の生徒が10の科学体験ブースを出展し、来場した子供たちに科学実験を説明し、共に科学を楽しみました。

当日は、会場の開館8:30に合わせて、本校から出展する生徒53人と引率教員10名、計63名が会場設営を開始しました。予定より早く10時には会場準備も整い、予定通り11時半から開会行事を行って来場者を迎え入れることができました。

アイロンビーズと多面体製作のブースは順番待ちの長い行列ができ、スライムと人工イクラのブースは原料がなくなって途中で学校へ取りに行くなど、出展ブースの周辺は終日賑わっていました。ブース担当の高校生たちは、熱心な子供たちに休む間もなく対応して、疲れはしたものの充実した一日だったと思います。科学実験ショーでは、その都度多くの子供たちが集まって、科学部の部員が行う様々な演示実験を食い入るように見ていました。特に、液体窒素を使って作ったアイスクリームは大好評で、試食には多くの子供たちが集まっていました。

出展した生徒達にとっては、普段教室で学ぶこととは逆に来場者にわかりやすく説明することで、科学を理解することについて新たな刺激を得たのではないかと思います。また、会場設営と撤収、受付、開会式の司会などイベント運営にも積極的にに関わり、地域との連携を大いに深めることができました。

◆本校関係の出展ブース・担当業務

内容	所属	担当生徒数
錯視工作	2J	4人
正多面体をつくろう	2J	3人
万華鏡をつくろう	2J	3人
人工イクラをつくろう	2J	3人
スーパーボールをつくろう	2J	4人
スライムをつくろう	2J	4人
バルーンアート	2J	3人
DNAビーズ工作	1J	4人
アイロンビーズ	1J	5人
ヘモグロビン測定	2J, 保健委員	5人
科学実験ショー	科学部	9人
受付	2J	6人
開会式司会	2J	2人
記録(写真撮影)	写真部	3人



《体験ブース風景》



《DNA ビーズ》



《アイロンビーズ》



《スーパーボール》



《スライム》



《バルーンアート》



《ヘモグロビン測定》



《骨密度測定》



《錯視工作》



《人工いくら》



《正多面体》



《万華鏡》



《科学実験ショー》



《科学実験ショー》



《受付》